

防災のヒント

糸魚川市駅北大火のような災害は、いつでもどこで起きてもおかしくありません。いざという時に自分の身を自分で守れるように、また、少しでも災害を防ぐことができるように、日頃から防災知識を蓄えていきましょう。

初期消火資器材40ミリホースの使用方法

収納箱の中
↓
収納物品



消火栓ハンドル

ホースバック(資器材)
40mmホース×2本
65mm金具、管そう

ホースバック(延長ホース)
40mmホース×2本



1 消火栓のキャップを外し、ホースバック(資器材)の65mm金具を接続する。



2 上フタを外し、ホースバック(資器材)を肩に担ぎ、ホースを延長する。



3 ホースが足りないときは、ホースバック(延長ホース)を接続し延長する。



4 ホースバック(資器材)から管そうを外しホースに接続する。



5 筒先から合図がきたら、消火栓ハンドルを左(開)に、ゆっくり回し送水する。



6 放水中も、管そうのオレンジ部分を回すことにより放水、止水できる。

REPORT

5月19日(日)

大町緑町新七三区防災会 初期消火資器材取り扱い訓練

木造住宅密集地区の消火栓の機能強化のため、地下式を地上式に変更した消火栓で訓練を実施しました。大町緑町新七三区防災会主催で初めての訓練となった今回は、女性や子どもを主体に約60人が参加。消防署員と消防団員の指導のもと、消火栓から40mmホースを延長して参加者全員が放水とホースの着脱を体験しました。

女性はもちろん、小学校高学年の児童なら一人でも十分に放水可能。園児や小学校低学年は大人に手伝ってもらって放水を体験しました。「火事の時に燃えていない家に水をかければ延焼防止にもなるね」という感想もあり、初期消火の重要性を学ぶ機会になりました。



消火栓の横に初期消火資器材を新たに設置(株式会社井上商会横)



70歳を越えた女性も上手に放水。「思っていたより飛ぶね」「案外軽いね」との声も



ぼくたち! わたしたち!

こども消防隊

こども消防隊員を
紹介します!



副隊長 藤巻 然くん
(糸魚川小学校6年生)

活動が楽しそうだったので妹と一緒に入りました。火事になってしまったときは、学校でやっている避難訓練やこども消防隊で習った初期消火訓練などを思い出して、訓練通りにこなしたいと思います。



水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

平成30年7月に甚大な被害をもたらした西日本豪雨の後、国による検討がなされ、より分かりやすく伝えるために5段階の警戒レベルで住民の皆様へ防災情報をお伝えすることになりました。

警戒レベル4で全員避難を

このように行動しましょう

警戒レベル4

**避難勧告
避難指示(緊急)**

(糸魚川市が発令)

→ **全員が避難を開始**

《放送例》

緊急放送、警戒レベル4、○○地区に土砂災害に関する避難勧告を発令しました。○
○地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。

警戒レベル

5

警戒レベル5

災害発生

(糸魚川市が発令)

→ **命を守る最善の行動**

警戒レベル3

**避難準備・
高齢者等避難開始**

(糸魚川市が発令)

→ **高齢者等は避難を開始**

その他の市民は避難準備

《放送例》

緊急放送、警戒レベル3、○○地区に土砂災害に関する避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。お年寄りなど避難に時間のかかる方は避難を開始してください。

警戒レベル2

注意報 (気象庁が発表)

→ **避難に備え、避難行動の確認**

4

3

2

警戒レベル1

早期注意情報 (気象庁が発表)

→ **災害への心構えを高める。**

1

※警戒レベルは1から順番に出るとは限りません。
※この警戒レベルは、津波や火山の避難時には使用しません。

～今後も地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう～

問合先 消防本部 消防防災課 ☎552-2311